

第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年1月

応募者名: 福山市役所建設局土木部道路整備課

事業の名称: 備後圏都市計画道路事業 津之郷奈良津線

実施都市名: 広島県福山市

事業目的

山手橋は、福山市中心部へつながる幹線街路の一部で、交通が集中するボトルネックとなっています。旧橋の両詰交差点には右折車線がなく、特に朝夕のピーク時には著しい交通渋滞が発生していました。また、離合困難な狭い歩道、現行の河川管理基準を満足しない径間長などの構造的な問題を抱えていました。そのため、交通の円滑化と市民生活の安全・安心の確保を図るため、橋梁の架け替えを行いました。

事業概要

事業名称: 備後圏都市計画道路事業

路線名: 3・5・614号津之郷奈良津線

事業箇所: 広島県福山市山手町五丁目外3か町

事業延長: 517m(うち山手橋架け替え延長312m)

幅員: 19m(山手橋区間)

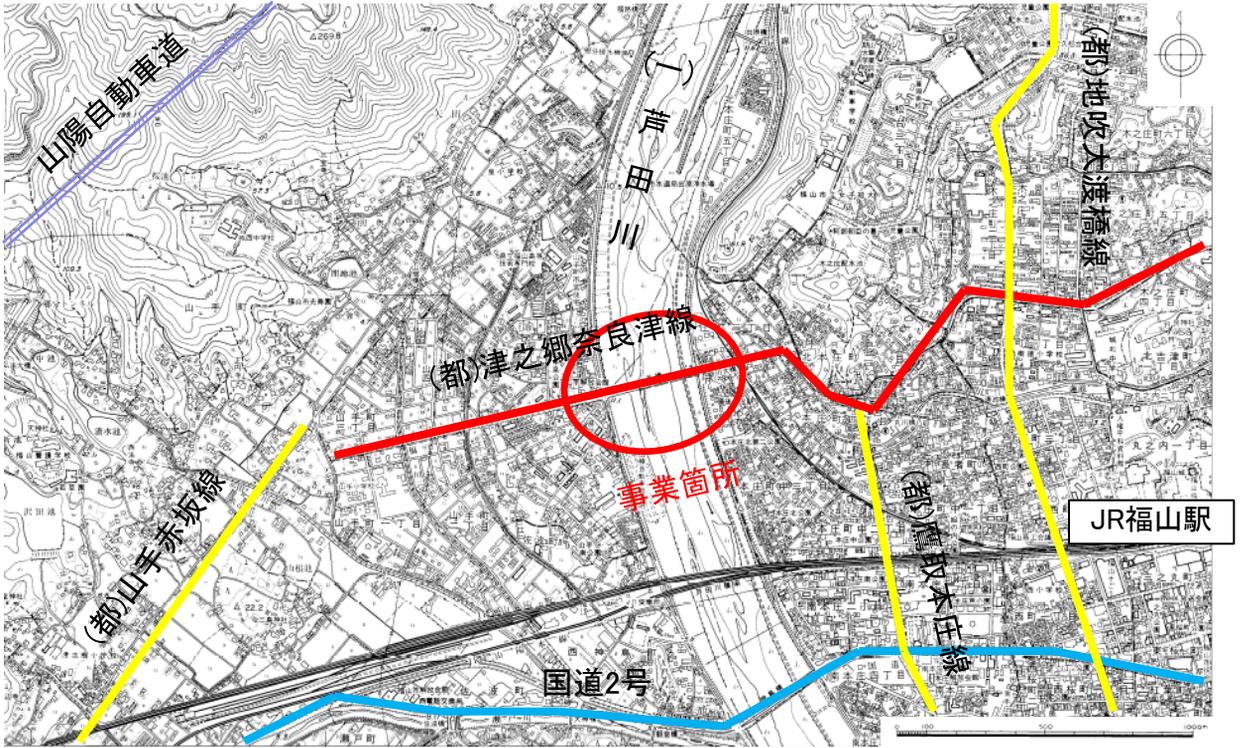
事業費: 4,552,203,000円

事業実施期間: 2001年(平成13年)～2014年(平成26年)

山手橋の架け替えにより、車道部を3車線化し、中央に右折車線を設けるとともに、両側に4.5mの自転車歩行車道を配置しました。また、橋脚本数を減らして基準径間長を満足させるとともに、通水断面(桁下余裕高)を確保できる橋梁形式としました。合わせて、両詰交差点を挟んで連続する山手立体橋及び二股高架橋の拡幅を行い、右折車線を付加しました。

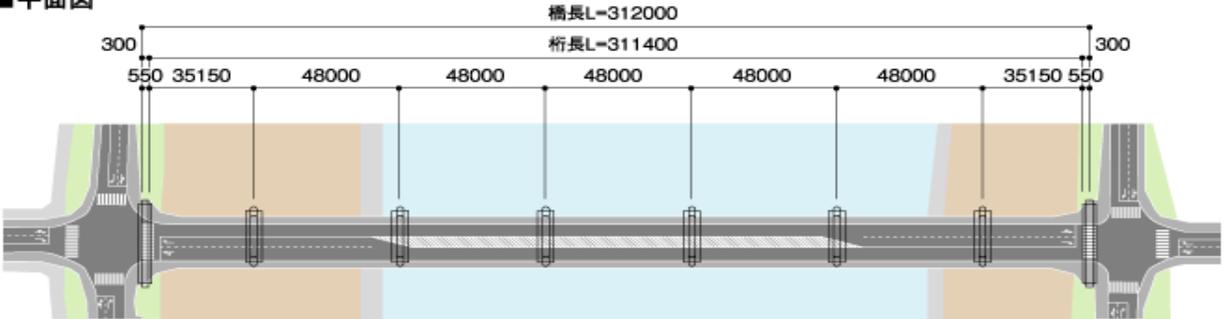
山手橋架け替え工事では、地域活動を支えている山手橋の通行を確保しながらの施工が可能な「横取り工法」を採用しました。「横取り工法」は、旧橋に隣接して架けた1次橋に交通を転換した後、旧橋撤去および2次橋施工を行い、再度2次橋に交通を転換して、1次橋を一括横移動(横取り)させた後に2次橋と一体化させる工法であります。一時的に供用した300mを超える橋を横取りする工事は、全国的にも極めて珍しいと言えます。

事業位置図

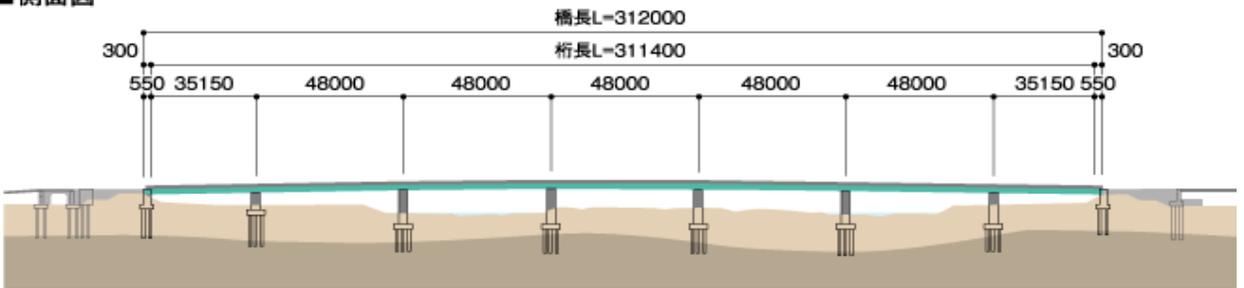


全体図(平面図・側面図・横断図)

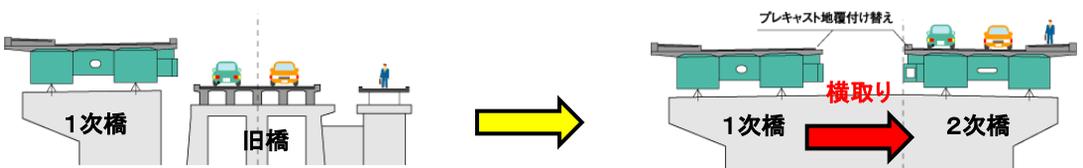
■平面図



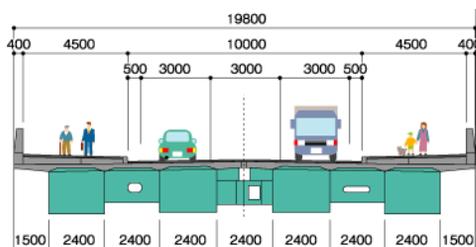
■側面図



■横断図



完成形



(都)津之郷奈良津線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 備後圏都市計画道路事業
 路線名: (都)3・5・614号津之郷奈良津線
 事業箇所: 福山市山手町五丁目外3か町
 事業延長: 517m(うち山手橋架け替え312m)
 幅員: 19m
 総事業費: 約46億円
 事業期間: 2001年(平成13年)11月1日から
 2014年(平成26年)3月31日まで

【その他の整備効果】

○横取り工事見学会

一度供用している橋を横取りする工法は、全国でも事例がない工事であるため、地元で山手橋に対する愛着を持っていただくよう工事見学会を開催。



○山手橋完成式典

地元町内会主催による山手橋完成式典を開催。郷土の踊り「はね踊り」を披露する等、大盛況な式典となった。



【整備効果】

○山手橋の利用交通の増加

福山市西部地区と市内中心市街地を連絡する山手橋の1日あたり交通量は約600台増加した。



○朝夕のピーク時における移動時間の短縮

山手小学校入口交差点から山手橋東詰交差点を通過する所要時間は直左折時で約6分、右折時で約8分短縮された。

山手小学校入口交差点 → 山手橋東詰交差点
ピーク時所要時間



○渋滞長の減少

福山西部地区から市内中心市街地に向かう交通の渋滞長は、山手橋西詰交差点で約160m減少、山手橋東詰交差点では渋滞解消された。

山手橋西詰交差点: 東向き



山手橋東詰交差点: 東向き



【横取り前】



【横取り後】



事業前写真

平成16年10月撮影

事業前写真1



事業前写真2



事業前写真3

右岸側



事業前写真4

左岸側



平成24年1月撮影

上部工桁架設状況



平成24年11月撮影

横取り設備組立状況



事業後写真

事業後写真1

平成25年3月撮影



平成26年10月撮影

事業後写真2



事業後写真3



事業後写真4



事業後写真5



路線全体の進捗状況

